

建設の施工企画

2004年7月号 No.653

目次

安全対策特集

1	グラビヤ 安全対策	
3	巻頭言 安心できる安全対策 —今こそ、参加型イネイブリング・アプローチを—	堀野 定雄
4	建設機械施工の安全施策の取組み	稲垣 孝
9	建設機械の標準化の動向	渡辺 正
15	ケーソン無人化据付けシステムの開発	真鍋 匠
20	道路工事の安全対策用機材について	外村 圭弘・山田 隆
26	手すり先行足場による墜落災害の防止	藤崎 治男
32	土工機械のC規格による安全性向上	田中 健三・田中 利昌
37	建設クレーンの規格化による安全性向上	社団法人日本クレーン協会
43	大型油圧ショベル転倒時保護構造に関する研究	西ヶ谷忠明・佐々木隆男
49	ずいそう スポーツにおける若者の台頭に思う	羽山 高義
50	ずいそう 山菜採り	岩本 忠和
51	平成15年度官公庁・建設業界で採用した新機種 国土交通省	宮石 晶史
	建設業界	桑原 資孝
63	JCMA第54回海外建設機械化視察団報告(2) 国際建設機械・建設資材製造機械・建設用車輛専門見本市 —bauma 2004・BAUMA MINING—	
71	JCMA報告 第14回ISO/TC 195(建設用機械及び装置)シカゴ国際会議報告	標準部会
75	CMI報告 建設機械用の危険検知装置及び視覚補助装置	飯盛 洋
77	新工法紹介	広報部会
79	新機種紹介	広報部会
82	統計 平成16年度建設投資見通しの概要/ 2004年4月	広報部会
86	お知らせ	
90	行事一覧(2004年5月)	
92	編集後記	(有光・斉藤)

◇表紙写真説明◇

墜落災害の撲滅を目指す新しい足場の導入

最近、建設工事に使用される足場が変わりつつある。「手すり先行足場」と「動きやすい安心感のある足場」の導入である。「手すり先行足場」とは、組立て時に上層の手すりを先行して設置することにより、上層の布板(作業床)に立つ時は必ず手すりが備え付けられているという足場である。「動きやすい安心感のある足場」とは、手すり先行足場の各層に二段手すりとはま先板(幅木)の機能が付いている足場である。親綱や交差筋かいで墜落事故の防止をして

いた従来の考え方に変更をせまるもので、作業員の墜落事故や物の飛来・落下事故の防止に大きく貢献するものと期待されている。

建設業の死亡災害は毎年全産業の3~4割を占め、そのうち墜落災害の死亡者が建設業死亡者の4割以上を占めている。このような現状を打開しようとして、厚生労働省、国土交通省、農林水産省ならびにその関係者が中心となり、これらの安全性の高い足場の普及に力を入れている。

写真に示すように、足場に二段手すりとはま先板(幅木)がしっかり取付けられ、安全で効率的な作業環境を提供している。